

9 大雨・洪水・雷から身を守ろう

大雨がふったり、雷がなったりすると、どのようなきけんがあるのでしょうか。また、どのようにして身を守ればよいのでしょうか。

○大雨・洪水・雷のきけん

みなさんの家のまわりに川はありませんか。大雨がふると、川の水がまし、てい防がこわれたり、てい防を乗り越えて水が町にながれたりするなど、大きな水がいがおこることがあります。これを洪水といいます。川の近くでなくても、大雨で道路に水があふれ、歩けなくなることもあります。

また、雷は強い電気です。日本では、毎年、雷にうたれて亡くなる人がいます。このような災害から身を守るには、天気のようにすに気をつけたり、天気よほうを聞いたりして、早めに安全なところへ避難することが大切です。

○雷がなったら

外にいるとき	なかにいるとき
<p>○雷が聞こえたら、すぐにあんぜんなばしよ(たてものの中やじどうしゃの中など)に避難する。</p> <p>○木の下や木のそばには、避難しない。</p> <p>○じてんしゃにのっていたら、すぐおりてあんぜんなばしよに避難する。</p> <p>○避難ばしよがないときは、ひくいしせい(りょう足をそろえてしゃがむ)をとる。</p> <p>○ふだんからみのまわり(つうぐとちゅう)の避難ばしよをかんがえておく。</p>	<p>○外に出ない。</p> <p>○雷のかつどうは、みじかいじかんでおさまることがおおいので、下校時はむりにかえらずにまっている。</p> <p>○すべてのでんききき(テレビ、れいぞこなど)から1mいじょうはなれる。</p>



〇こんなふう^{そら}に空^かのようすが変わったら

天気^{てんき}は急^{きゆう}にかかります。空^{そら}のようすが急^{きゆう}にふだんどちがってきたら、それは天気^{てんき}の^{へんか}変化^{つた}を伝えるサインです。積乱雲^{せきらんうん}が近^{ちか}づいてきているのです。



くろ くも ちか
黒い雲が近づいてきた



かみなり おと き
雷の音が聞こえてきた



つめ かぜ きゆう
冷たい風が急にふいてきた

おおあめ かみなり たつまき ちか
大雨 雷 竜巻が近づいています。

このように天気^{てんき}が急^{きゆう}にかわる時は、大雨^{どき}（ゲリラごうう）や雷^{かみなり}、竜巻^{たつまき}のサインです。
このような場所^{ばしょ}にいる時は、すぐ^{どき}にじょうぶな建物^{たてもん}に入りましよう。



かわら



たはた
田畑、グラウンドなど



まわりよりひくい道
みち

たてもん はい
すぐにじょうぶな建物に入りましよう。

しりょう き しょうちようホームページ
(資料：気象庁HP)

〇急^{きゆう}に天気^{てんき}が変わりそうになったら、あなた^かはどのように^{こうどう}行動しますか。



ふりかえり

